

優れた景観に恵まれているため、西表国立公園として指定されており、観光客も年々増加している。

(3) 地域漁業の概況

地域の漁業の概況を表-1~7に示した。まず地区の漁業経営体数は、昭和58年には492体で、石垣市が382体(78%)、竹富町が110体(22%)である。階層別には1~3トンが266(54%)、1トン未満が131体(27%)である。10トン以上の経営体は、かつお一本釣とまぐろ延縄に13経営体があるが、すべて石垣市にある。

漁業種類別には、その他の漁業が200体(41%)、一本釣りが168体(34%)、刺し網が47体(10%)である。竹富町では、一本釣りが36体(33%)、その他の漁業が27体(24%)刺し網が23体(21%)である。

地区の昭和58年の生産量は、4,249トンで、漁業種類別には沿岸、近海かつお一本釣りが1,635トン(38%)、潜水器、追込網等のその他の漁業が752トン(18%)、一本釣りが776トン(18%)である。竹富町の実産量は444トンで、一本釣(34%)、採藻(24%)、その他の漁業(24%)、刺し網(16%)等が多い。

魚種別には、かつおが1,645トン(39%)、まち類393トン(9%)、海藻類339トン(8%)、まぐろ類261トン(6%)の順である。竹富町では、海藻類、まち類、ふたい類が多い。

地区内の漁業協同組合は、八重山漁協1つである。組合員数は777人で正組合員が580人、准組合員が197人である。八重山漁協は、沖縄では3番目に組合員数の多い漁協である。販売事業の取扱高は1,444百万円、購買事業は300百万円、信用事業は、貯金が1,594百万円、貸付金が918百万円である。(表-1~表-7)

表-1 八重山における漁獲高の推移(石垣市・竹富町・与那国町・八重山支庁) 単位:トン・百万円

年次	合計(百万円)	海面漁業		海面養殖業(真珠)		内水面養殖業(ウナギ)	
		漁獲量	金額	漁獲量	金額	漁獲量	金額
昭和54年	3,774	3,480	2,628	35,369	156	571	986
55年	4,248	4,693	3,315	40,516	254	453	678
56年	3,599	4,073	2,770	96,309	240	364	589
57年	3,861	4,292	3,516	51,061	194	442	836
58年	3,532	4,507	2,933	60,393	181	209	417

表-2 県・石垣市・竹富町 経営体数 沿岸漁業生産量の推移

		51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年
漁業経営体数	県	4,213	4,025	3,931	4,401	4,553	4,481	4,337	4,492
	石垣市	426	405	359	368	353	347	383	382
	竹富町	114	136	167	148	147	145	137	110
沿岸漁業生産量 単位トン	県	12,446	13,214	11,954	11,476	13,395	13,747	14,808	15,839
	石垣市	2,950	2,364	2,110	2,408	2,574	2,399	2,006	1,870
	竹富町	337	178	185	216	312	478	536	445

